

Oracle Master Silver 特別試験そっくり(?)模擬試験問題

Oracle入門編（70点以上合格）

出席番号_____氏名_____得点_____

問題1 リレーショナル型データベースの特徴を次の中から2つ選択しなさい。

- 1、データの記憶領域への配置を意識せずに、自由なデータアクセスを実現する
- 2、情報へのアクセス経路は1つ
- 3、1つの情報が複数の情報と親子関係をもつ
- 4、データの配置などの物理的な構造が検索時の処理速度に影響する
- 5、情報のアクセス経路が複数存在し、親となる情報は1つとは限らない
- 6、集合演算によるデータ操作機能がある

問題2 ユーザーに設定されている内容の中で、ユーザーの変更コマンドでは変更できないものを選択しなさい。

- 1、ユーザー名
- 2、デフォルト表領域
- 3、テンポラリー表領域
- 4、クォータ
- 5、パスワード

問題3 次のコマンドを確認し、ユーザーSCOTTに与えられているシステム権限の組み合わせは次のどれか選択しなさい。

```
GRANT CREATE USER TO PUBLIC;  
GRANT CREATE SESSION, CREATE TABLE TO SCOTT, DEMO;
```

- 1、「CREATE USER」
- 2、「CREATE SESSION」「CREATE USER」
- 3、「CREATE SESSION」「CREATE TABLE」「CREATE USER」
- 4、権限は付与されていない
- 5、「CREATE SESSION」「CREATE TABLE」

問題4 自分の持ち物に誰がアクセスできるかを列単位で表示するデータ・ディクショナリを選択しなさい。

- 1、USER_TAB_PRIVS_RECD
- 2、USER_COL_PRIVS_RECD
- 3、USER_COL_PRIVS_MADE
- 4、USER_TAB_PRIVS_MADE

問題5 ユーザーAにCREATE TABLE システム権限を直接付与し、CREATE USER、CREATE TABLE、CREATE SESSION システム権限のセットであるロール1をユーザーAに付与した。その後、ユーザーAからCREATE TABLE システム権限を取り消した。ユーザーAは使用することのできるシステム権限の組み合わせは次のどれか選択しなさい。

- 1、どのシステム権限も有効ではない
- 2、「CREATE TABLE」
- 3、「CREATE USER」「CREATE TABLE」「CREATE SESSION」
- 4、「CREATE USER」「CREATE SESSION」

問題6 次の文章で正しいものを全て選択しなさい。

- 1、データ・ディクショナリはユーザーSYSTEMが持ち主となり、SYSTEM表領域に格納されている
- 2、データ・ディクショナリはOracleが管理する
- 3、データ・ディクショナリはユーザーSYSが持ち主となり、SYSTEM表領域に格納されている
- 4、データ・ディクショナリを管理するユーザーをあらかじめ決定する必要がある
- 5、データ・ディクショナリはOracleが所有し、インストール時に作成されるファイルの一部に格納されている

問題7 表領域に関する次の記述の中で、誤っているものを選びなさい。

- 1、物理ファイル1つにつき表領域が1つ対応する
- 2、ユーザーの表は、安全上、Oracleが監視しているSYSTEM表領域に作るべきである
- 3、ユーザーの作成時、表領域を指定しないとSYSTEM表領域を指定したことになる
- 4、表領域はデータベース管理者が必要なだけ任意の名前で作成することができる
- 5、各ユーザーへの領域の使用制限（QUOTA）が表領域単位で行える

問題 8 制約名を省略した場合、Oracle によって自動的につけられる名前を選びなさい。

- 1、SYS_CXXXXX
- 2、SYS_CONSTRAINTXXXXX
- 3、C_XXXXX
- 4、CONS_XXXXX

問題 9 制約に関する記述の中で誤っているものを選びなさい。

- 1、NOT NULL 制約は、表制約構文では記述できない
- 2、制約がどの表のどの列に定義されているかを確認するディクショナリ名は、USER_CONS_COLUMNS である
- 3、PRIMARY KEY, UNIQUE 制約を定義すると、自動的に索引が作成される
- 4、参照整合性制約を定義する場合、親表の参照される列は一意でなくてもよい

問題 10 表にどのような制約がついているのか、また CHECK 制約の条件、参照整合性制約の場合、どの表のどの列を参照しているのかという制約の情報を得る為にはどのデータ・ディクショナリを検索すればいいか正しいものを選びなさい。

- 1、USER_CONSTRAINT
- 2、USER_CONS_COLUMN
- 3、USER_CONSTRAINTS と USER_CONS_COLUMNS
- 4、USER_CONSTRAINT と USER_CONS_COLUMN

問題 11 表の変更および削除について、以下の記述のうち誤っているものを選びなさい。

- 1、参照整合性制約がつけられている表を削除する場合、CASCADE CONSTRAINTS 句を指定して、参照整合性制約ごと削除することができる
- 2、表名の変更には RENAME コマンドを用い、[RENAME 元の表名 TO 新しい表名;]という形で変更する
- 3、DROP TABLE コマンドで表を削除すると、表に入っているデータごと削除してしまう
- 4、参照整合性制約がつけられている表を削除する場合、子表の参照整合性制約を削除しても親表を削除することはできない

問題 12 ALTER TABLE 文で列幅の変更をしようとしたらエラーになりました。原因と考えられるものを選びなさい。

- 1、列幅の変更は常に、該当列は全行 NULL でなければいけないから
- 2、数値型列しか列幅変更はできないから
- 3、テーブルは空の状態であればいけないから
- 4、該当列に値が入っている場合は、幅を小さくすることはできないから

問題 13 DEPT 表で、JOB 列が必要なくなりました。この列を削除しているのは次のどれでしょう。

- 1、ALTER TABLE dept DROP UNUSED COLUMN job;
- 2、ALTER TABLE dept DROP COLUMN job;
- 3、DROP COLUMN job FROM dept;
- 4、DROP UNUSED COLUMN job FROM dept;

問題 14 以下の通りビューを作成した場合、作成されたビュー ROOM_VIEW を更新できるものを選びなさい。

- 1、CREATE VIEW ROOM_VIEW(ROOM_TYPE,AVG_PRICE) AS SELECT TYPE, AVG(PRICE) FROM ROOM GROUP BY TYPE;
- 2、CREATE VIEW ROOM_VIEW(AVG_PRICE) AS SELECT AVG(PRICE) FROM ROOM;
- 3、CREATE VIEW ROOM_VIEW AS SELECT DISTINCT PRICE FROM ROOM;
- 4、CREATE VIEW ROOM_VIEW AS SELECT ROOMNO,PRICE FROM ROOM WHERE TYPE='S';

問題 15 ビューに対するオブジェクト権限を再度付け直すことなく、ビューの再定義をしたいと思います。どのコマンドを使用したらよいか最適なものを選びなさい。

- 1、REPLACE VIEW コマンドにて再作成を行う
- 2、DROP VIEW と CREATE VIEW コマンドにて、削除、作成を行う
- 3、CREATE OR REPLACE VIEW コマンドにて再作成を行う
- 4、ALTER VIEW コマンドにて再定義を行う

Oracle Master Silver 特別試験そっくり(?)模擬試験問題

Oracle入門編（70点以上合格）

出席番号_____氏名_____得点_____

問題 16 インデックスを作成しないほうが良い場合を選択してください。

- 1、 WHERE 句や結合条件で 2 つ以上の列と一緒に頻繁に使用される
- 2、 表のサイズが大きい
- 3、 問合せによりすべての行の 2% ~ 4%以上の行を検索することが予想される
- 4、 列に広い範囲の値が含まれる

問題 17 シノニムに関する説明で正しくないものを選択しなさい。

- 1、 プライベート・シノニムとは作成者だけが使用できるシノニムである
- 2、 プライベート・シノニムにしても、パブリック・シノニムにしても作成するには CREATE SYNONYM システム権限が必要である
- 3、 シノニムがあるからといって、他のユーザーのオブジェクトにアクセスするにはあらかじめオブジェクト権限が付与されている必要がある
- 4、 パブリック・シノニムの削除には、「DROP PUBLIC SYNONYM」コマンドを使用する
- 5、 シノニムとはオブジェクトにつける別名のことである

問題 18 順序を MAXVALUE のみ 10 として作成した。このとき、順序を使用して、10 まで達した場合どのようなかを選択しなさい。

- 1、 0 に戻って繰り返し値が生成される
- 2、 次の値は生成できないがエラーともならない
- 3、 次の値は生成できずエラーとなる
- 4、 1 に戻って繰り返し値が生成される

問題 19 Oracle インスタンスの記述で誤ったものを選択しなさい。

- 1、 Oracle RDBMS の中心部分を Oracle インスタンスと呼ぶ
- 2、 Oracle インスタンスには、識別子(SID)がつけられている
- 3、 Oracle インスタンスは、固定されていて接続する際にユーザによって選択できない
- 4、 Oracle インスタンスは、システム・グローバル・エリアとバックグラウンド・プロセスで構成されている

問題 20 DML(UPDATE、DELETE、INSERT)が実行されるときの流れで実行計画を立ててからの正しい流れのものを選択しなさい。

データ・ブロックの該当行を変更する
変更前、変更後の情報を Redo ログ・バッファに書き込む
データベース・バッファ・キャッシュに該当データがなければ読み込み、ロールバック・セグメントの確保
変更前情報をロールバック・セグメント・ブロックに書き込む
取り出したデータの該当行をロック

- 1、 3 5 1 4 2
- 2、 3 5 4 2 1
- 3、 5 3 2 1 4
- 4、 3 5 2 4 1
- 5、 2 5 3 4 1